



## 出光興産とFOMMがバッテリー交換式EV事業の協業検討を開始 ～国内のEVメンテナンスネットワークの構築によりEVのカーケアニーズに対応～

2023年10月26日

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：木藤 俊一、以下「当社」）は株式会社FOMM（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 鶴巻 日出夫、以下「FOMM」）と、サービスステーション（以下「SS」）のネットワークを活用したEV関連事業の推進を目的に、協業の検討に関する覚書を締結しました。本覚書のもと両社は、EVのメンテナンスや軽自動車向けEVコンバージョン※サービス体制の構築等を検討します。

※内燃機自動車からエンジン等の部品を取り除き、EV関連部品を取り付けることでEVに切り替えること



FOMMグループ



**バッテリー交換式EV  
技術・知見の提供**



出光興産



**系列SSにおいて  
EVコンバージョン  
メンテナンス等を実施**

今後の協業イメージ

FOMMは、小型EV企画・開発を行うモビリティ・メーカーです。同社が開発した軽自動車規格の4人乗り小型EV「FOMM ONE」の販売を2019年からタイで開始し、2021年から日本において販売を開始しています。

今後、当社とFOMMは当社のSSネットワークを活用したEV関連事業の推進に向け、以下の分野で協業の可能性を検討します。

1. 「FOMM ONE」のメンテナンス等のアフターサービス提供と当社のSSネットワーク活用に関する検討
2. FOMMのバッテリー交換式コンバージョンEV事業における販売、改造業務、アフターサービス提供等と当社のSSネットワーク活用に関する検討
3. 当社のSSネットワークを活用したFOMMのバッテリー交換ステーション事業の展開に関する検討
4. FOMMが将来的に量産を計画する新型車両の展開における連携可能性の検討

当社は系列SSを通じて、過去からお客様のカーライフをサポートすべく、給油に留まらない車検や整備等のカーケアサービスを手掛けてきました。

新車販売台数の半数以上が電動車（ハイブリッド車含む）となっている現在の環境を踏まえ、電動車のメンテナンスを含むアフターサービス需要が今後加速すると予測しています。

このような環境の変化に対して、当社はバッテリー交換式EVに関する技術と知見を有するFOMMと協力して、EVに関連する多様なサービスとネットワークの拡充を実現していきます。

当社は2022年11月に発表した「中期経営計画（2023～2025年度）＜」において、下記3つの事業領域の社会実装を通じ、事業ポートフォリオ転換を推進することを表明しました。



## 出光興産 事業ポートフォリオ転換に向けた3つの事業領域

本取り組みは上記3つの事業領域のうち「スマートよろずや」の開発と社会実装に向けた取り組みと位置付けています。

「スマートよろずや構想」ではスローガン「いろんなa!を、このまちに。」のもと、全国に広がるapollostationを、燃料供給に留まらない地域の生活支援基地へと変革を進めています。幅広い移動手段の提供を通じて、それぞれの地域の困りごとの解決に貢献してまいります。

## ■株式会社FOMM 概要

設立	2013年2月
代表者	代表取締役 鶴巻 日出夫
URL	<a href="https://www.fomm.co.jp/">https://www.fomm.co.jp/</a>
所在地	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町30-18
事業内容	FOMMは、2013年に設立したモビリティ・メーカーです。2019年に初の製品となる「水に浮き、移動ができる対水害機能」を備えた小型EV「FOMM ONE」の販売を開始しました。「FOMM ONE」に留まらず、「着脱式小型バッテリーによる簡易交換システム」や「バッテリー交換インフラシステム」など、モビリティを始めとした幅広い分野において研究開発に取り組んでおります。

～お問い合わせ先～

出光興産株式会社 広報部広報課

[https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease\\_flow/index.html](https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html) >

ニュースリリース一覧へ